

平成23年「東北地方太平洋沖地震」に伴う補正予算（案）について

1 補正予算の概要

「東北地方太平洋沖地震」に伴う甚大な被害からの早期復旧を支援するため、同じ大震災の被災地として、被災県及び国からの要請等にも応え、物資の提供、職員等の派遣などに必要な措置を講じるとともに、本県の備蓄物資の充実もあわせて補正予算を編成する。これらにかかる経費については、予備費の減額で対応する。

2 対策の規模

(単位：千円)

区 分	今 回 補正額	財 源 内 訳			内 容
		国庫	特定	一般	
東北地方太平洋沖地震に伴う支援	608,000	0	0	608,000	
1 物資の提供等	552,000	0	0	552,000	化米、毛布、ベビー用品等の被災地への提供及び災害用資器材の備蓄
2 職員等の派遣	53,000	0	0	53,000	緊急消防援助隊、避難者の健康対策 応急復旧対策などに対し、1,267人 (延べ8,684人日)の派遣
3 見舞金	3,000	0	0	3,000	被災した3県(岩手、宮城、福島) への見舞金の贈呈
予 備 費	608,000	0	0	608,000	
計	0	0	0	0	

物資については、災害救助法に基づき備蓄していたものであることから、今後の災害に備え、災害救助基金の積立により補充

3 事業の概要

- (1) 物資の提供等 552,000千円
 救援物資の提供 497,000千円
 食料、毛布、仮設トイレなど備蓄物資の1/2程度等を緊急支援物資として提供

供

- ・ 発送時期 3月13日～
- ・ 送付物資の内容

項目	数量
化米	50,000食
毛布	50,000枚
ブルーシート	2,000枚
仮設トイレ	300基
ほ乳ビン	500個
ほ乳ビン消毒剤	500個
ほ乳ビン消毒ケース	500個
紙おむつ	2,000個
おしりナップ	2,000個
離乳食	15,000食
ベビーバス	100個
炊き出し用資材(米、水等)	21,000食
炊き出し用機材(大鍋)	135個
飲食料品(飲料、レトルト食品等)	40,000食分

災害用資器材の備蓄 55,000千円

災害時における地域の災害復旧活動を支援するため、災害用資器材を備蓄

- ・ 備蓄資器材 シャベル、バール、長靴、軍手

(2) 職員等の派遣 53,000千円

【救急救助対策】

緊急消防援助隊 15,000千円

消防庁からの指示に基づき、被災地に緊急消防援助隊(航空部隊)を派遣し、救助活動等を応援

- ・ 派遣先 岩手県、宮城県等
- ・ 派遣期間 18日間(3月14日～31日)
- ・ 派遣人数 6名(延べ108人日)

広域緊急援助隊 1,000千円

警察庁からの指示に基づき、被災地に広域緊急援助隊(警察)を派遣

- ・ 派遣先 岩手県及び福島県
- ・ 派遣期間 21日間(3月11日～31日)
- ・ 派遣人数 186名(延べ3,906人日)

【避難所対策】

避難者の健康対策 3,000千円

被災者の健康チェック、健康相談等を実施するため、厚生労働省からの要請に基づき、被災地に保健師を派遣

- ・ 派遣先 宮城県仙台市役所
- ・ 派遣期間 18日間(3月14日～31日)
- ・ 派遣人数 14人(延べ81人日)

こころのケア対策 3,000千円

こころのケアに関する診療や相談を実施するため、厚生労働省からの要請に基づき、被災地に県職員等を派遣

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣期間 14日間(3月18日～31日)
- ・ 派遣人数 6名(延べ84人日)

震災・学校支援チーム(EARTH) 2,000千円

避難所となった学校の避難所運営支援や被災した児童生徒の心のケア支援等を実施するため、宮城県からの要請に基づき、震災・学校支援チーム(EARTH)を派遣

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣期間 17日間(3月15日～31日)
- ・ 派遣人数 5名(延べ85人日)

救援ボランティア 18,000千円

被災地の状況を踏まえ、ボランティアコーディネーター及び救援ボランティアの派遣を実施

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣期間 { ボランティアコーディネーター：7日間
ボランティア：4日間
- ・ 派遣人数 { ボランティアコーディネーター：5名(延べ35人日)
ボランティア：1,000名程度(延べ4,000人日程度)

【被災住宅対策】

応急危険度判定 1,000千円

住民の安全を守るため、国土交通省からの派遣要請に基づき県職員を派遣し、被災建築物の応急危険度判定を実施

- ・ 派遣先 福島県等
- ・ 派遣時期 5日間
- ・ 派遣人数 5名(延べ25人日)

災害廃棄物処理 1,000千円

災害廃棄物処理計画の策定、迅速な処理等についての助言を実施するため、宮城県からの要請に基づき、阪神・淡路大震災時に災害廃棄物処理を経験した県職員を派遣

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣時期 7日間(3月16日～22日)
- ・ 派遣人数 5名(延べ35人日)

【応急復旧対策】

土木施設にかかる応急復旧対策 7,000千円

ア 被災状況等の調査 1,000千円

土木施設の復旧に関し、フェーズごとに必要となる支援内容を検討するため県職員の派遣により、被災状況等の調査を実施

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣期間 4日間(3月17日～20日)
- ・ 派遣人数 5名(延べ20人日)

イ 応急復旧対策の立案 6,000千円

道路や浸水した市街地、河川における応急復旧対策の立案等を支援するため、阪神・淡路大震災や平成16・21年の大規模水害を経験した県職員を派遣

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣期間 10日間
- ・ 派遣人数 20名(延べ200人日)

応急仮設住宅対策 1,000千円

仮設住宅の建設場所、配置計画等の調整を支援するため、国土交通省からの要請に基づき、県職員を派遣

- ・ 派遣先 宮城県
- ・ 派遣期間 14日間(3月18日～31日)
- ・ 派遣人数 5名(延べ70人日)

【遺体の対応】

監察医 1,000千円

死体検案を実施するため、県職員(監察医)を派遣

- ・ 派遣期間 7日間
- ・ 派遣人数 5名(延べ35人日)

(3) 見舞金の贈呈 3,000千円

被災県に対し災害見舞金を贈呈

- ・ 贈呈先 3県(岩手県、宮城県、福島県)
- ・ 贈呈金額 1,000千円/県